

『ブルータリスト』 The Brutalist 2024年

執筆：清水 純子

| | |
|--------------------------|---|
| 制作国 | アメリカ、イギリス、ハンガリー |
| スタッフ&キャスト（監督、脚本家、俳優、その他） | スタッフ： 監督＆脚本 ブラディ・コーベット、モナ・ファストヴォールド/ 製作 ブラディ・コーベット、トレヴァー・マシューズ / R15 / 配給：パルコ/ キャスト：ラースロー・トート：エイドリアン・プロディ / エルジェーベト・トート：フェリシティ・ジョーンズ/ ハリソン・ヴァン・ビューレン：ガイ・ピアース/ ハリー・ヴァン・ビューレン：ジョー・アルワイン/ ジョーフィア：ラフィー・キャシディ / マギー・ヴァン・ビューレン：ステイシー・マーティン/ アティラ：アレッサンドロ・ニヴォラ/ その他/ |
| 画像 |    <p>© DOYLESTOWN DESIGNS LIMITED 2024. ALL RIGHTS RESERVED © Universal Pictures</p> |
| カラー・モノクロ | カラー |
| 時間 | 215分 |
| ストーリー | ハンガリーで名の知れた建築家ラースロー・トートは、第二次世界大戦中のナチスによるホロコーストを逃れ、九死に一生を得てアメリカにたどりつく。日雇いをして食いつなぐラースローの実績と才能を認めたペンシルヴァニアの敏腕実業家ハリソン・ヴァン・ビューレンの引き立てによって脚光を浴びるにいたる。礼拝堂やコミュニティーセンターの設計をまかされたラースローは、成功の階段を駆け上るように見えたが、ヨーロッパと慣習もやり方も違うアメリカという社会で差別され批判され、疎外感と違和感と戦っていた。故国で強制的に引き離された妻エルジェーベトや姪ジョーフィアも遅れてアメリカにやってきたが、ラースローの理解者になりえず、孤独に苦しむラースローはドラッグとアルコールに溺れていく。後ろ盾のハリソンは、妻ジョーフィアの暴露を信じれば、長年ラースローをレイプしてきた。1980年ヴェネツィア・ビエンナーレで「過去の存在」と名付けられたラースローは、ブルータリスト建築家としてそのキャリアを称賛される。 |
| 時代設定 | 1947年から1980年 |

| | |
|----------|--|
| 場所 | ハンガリーのブタペスト、アメリカのフィラデルフィア、ペンシルヴァニア |
| 社会的文化的背景 | 第二次世界大戦終結直後の欧洲とアメリカは、戦禍の痛手から回復していくにあたって、アメリカはイギリスを抑えて世界唯一の大國として地位を固めた。没落していく欧洲に対して繁栄と安定を謳歌し躍進するアメリカでは、急速に消費文化が浸透していった。しかし、老人や非白人の少数民族は貧困に苦しむ者も多く、人種差別も公然と行われていた。外見が白人に見えるユダヤ系の人々に対する嫌がらせは後を絶たなかったので、アメリカ社会で認められ成功するためにユダヤ教を捨ててキリスト教に改宗する者もいた。強者に従い、同化するのが安全に生き延びるコツであった。特に能力あるユダヤ系の人々は、白人社会において活躍を期待され、重宝に使われたために困難に直面し、葛藤を感じ、苦悩した。 |
| 使用言語 | 英語、ハンガリー語、イタリア語、ヘブライ語、イディッシュ語 |
| テーマ | 移民がアメリカンドリームを紡ぐ栄光と苦悩。ヨーロッパとアメリカの慣習、制度、宗教、文化の違いが生む葛藤、異文化の中での疎外感と孤独、人種差別によって居場所を奪われる恐怖、家庭崩壊、ユダヤ人差別、第二次世界大戦中のナチスによる蛮行。芸術と経営の相克、理想と現実の葛藤。 |
| みどころ | ラースローは、ユダヤ人であるために命を奪われる危険にさらされ、祖国ハンガリーを追われ、奇跡的にたどりついたアメリカでも差別と孤独に苦しむ。しかし、建築家としての高い志を曲げず、理想と信念を貫こうと奮闘する。能力と努力が報われた半面、挫折と屈辱にさいなまれ、自分を見失っていくラースロー、しかし死後に名声は復活し、存在感を増す栄誉、成功も失敗も経験しながら精一杯生きたラースローの人間味が心をうつ。 |
| 印象深いせりふ | <p>Erzsébet Tóth: This place is rotten. The landscape, the food we eat. This whole country is rotten.</p> <p>Erzsébet Tóth: Last night I met God. He gave me permission to call Him by His name.</p> <p>Harrison Lee Van Buren Sr.: When dogs get sick, they often bite the hand of those who fed them, until someone mercifully puts them down.</p> <p>Erzsébet Tóth: Your father is a rapist./ Harry Lee: Excuse me - whatever this is supposed to be, I don't like it. I'm calling your husband to come and fetch you./ Erzsébet Tóth: Your father is an evil rapist.</p> <p>Erzsébet Tóth: Losing a mother, it's an unfathomable loss. To lose one's birth mother is to lose the very foundation on which we stand. The mind may not know its loss, but the heart does.</p> <p>László Tóth: Nothing is of its own explanation. Is there a better description of a cube than that of its construction? There was a war on. And yet it is my understanding that many of the sites of my projects have survived. They remain there still in the city. When the terrible recollections of what happened in Europe cease to humiliate us, I expect for them to serve instead as a political stimulus, sparking the upheavals that so frequently occur in the cycles of peoplehood. I already anticipate a communal rhetoric of anger and fear. A whole river of such frivolities may flow undammed. But my buildings were devised to endure such erosion of the Danube's shoreline. /Harrison Lee Van Buren Sr.: What a poetic reply.</p> <p>László Tóth: Because they do not want us here./Erzsébet Tóth: Of course Attila wants us here./ László Tóth: Not Attila./Erzsébet</p> |

| | |
|----------------|---|
| | Tóth: Then who do you mean?/László Tóth: The people here, they do not want us here. Audrey, Attila's Catholic wife, does not want us here! She does not want us here! We are nothing. We are worse than nothing. |
| 授業教材用 メリット | <p>2024年・第81回ベネチア国際映画祭で銀獅子賞（最優秀監督賞）を受賞し、第97回アカデミー賞でも主演男優賞ほか3部門を受賞の秀作。アメリカ社会の抱える様々な問題（人種差別、移民、アメリカンドリーム、薬物依存、パワハラ、セクハラ、クイア、理想と現実の乖離）を歴史的推移をもって学べる。</p> <p>過去のできごとを間近にとらえることによって、反省と未来への展望を促す。</p> <p>アメリカを光と影の両面からとらえ、アメリカという国への理解を深める。建築家の理想と経営という現実との葛藤、異文化の中で生きる軋轢への理解を深める。2024第81回ヴェネツィア国際映画祭で監督プラディ・コーベット銀獅子賞受賞、2025年第82回ゴールデングローブ賞にて作品賞（ドラマ部門）、主演男優賞（エイドリアン・プロディ）、監督賞の3部門を受賞、第97回アカデミー賞では主演男優賞、撮影賞、作曲賞の3部門を受賞。</p> |
| 授業教材用 デメリット | 15分間の休憩が途中に入るが、長すぎる。伏線が入り乱れて、話がわかりにくい。洗練された暗示的手法が多く用いられるが、異文化理解の度合いが低いと意味が伝わりにくい。表題のブルータリストが建築様式であることも解説抜きにはわかりにくい。日本人にはなじみのない言語が入り乱れ、英語字幕と日本語字幕が錯綜し煩雑。 |
| 映像入手元 | Amazon・プライムビデオ/ U-NEXT |
| 原作の有無 | 無 |
| 支持反応 | metacritic評価（批評家90、観客6.7） Rotten Tomatoes評価（批評家93、観客80） |
| キーワード | ホロコースト、ユダヤ人、ハンガリー、ブタペスト、アメリカ、フィラデルフィア、ペンシルヴァニア、移民、ユダヤ系建築家、建築様式ブルータリズム、第二次世界大戦、アメリカンドリーム、1947年ユダヤ国家設立、シナゴーグ、クイア、アルコール、ドラッグ、権力、フィルム撮影、フィクション。 |

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。